

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-4(2) 健康で安心して暮らせる社会の構築（良好な水環境を確保するために）	施策No.	21	施策名	水質汚濁負荷量の削減
-----	---	-------	----	-----	------------

目的、内容	生活排水の100%適正処理を目指した生活排水処理対策の促進 ・下水道の整備や下水道への接続を促進するとともに、下水道の高度処理化、合流式下水道の改善を推進 ・下水道が整備されない地域では、合併処理浄化槽等の普及促進や、汚濁削減の府民啓発などの生活排水対策を推進 COD、窒素、りん等の総量削減計画に基づく総量規制など工場、事業場排水の規制・指導を、市町村と連携のもと確実に推進 2020年目標：人と水がふれあえ、水道水源となりうる水質を目指し、水環境をさらに改善する。 BOD（生物化学的酸素要求量）3mg/L以下（環境保全目標のB類型）を満たす河川の割合を8割にする。				
副次的効果、外部効果等					
関係法令、行政計画等	水質汚濁防止法、府生活環境の保全等に関する条例：工場、事業場排水の規制 下水道法、21世紀の大阪府下水道整備基本計画（Rose Plan） 浄化槽法 第9次大阪地域公害防止計画 大阪府生活排水対策推進要綱、大阪府生活排水処理計画整備指針（2012年度～）、市町村生活排水処理計画 生活排水対策推進計画（水質汚濁防止法に基づく生活排水対策重点地域：13市において策定）				
国等の政策、社会情勢等	ふっ素、ほう素、硝酸性窒素等 新暫定排出基準値の適用（2013年7月）				
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）	
	環境目的の本施策が主たる目的であるもの	26,679,353	28,214,064	30,904,964	
	事業費の本施策が従たる目的であるもの	18,880	22,245	21,448	
	環境以外の目的を含む事業費	0	0	0	
取組指標及び実績（施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績		
	① 生活排水適正処理率	大阪府環境白書掲載データ	93.3%（2010年度）、93.7%（11年度）、94.1%（12年度）		
	② 規制対象事業所への立入検査の件数	大阪府環境白書掲載データ	852件（2012年度）、864件（13年度）		
	③ BOD（生物化学的酸素要求量）3mg/L以下（環境保全目標のB類型）を満たす河川の割合	大阪府環境白書掲載データ	67.9%（2011年度）、74.1%（12年度）、71.6%（13年度）		
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況	
	総量削減計画/総量規制（第7次計画に基づく総量削減）	☆☆	総量削減計画の策定及び進行管理	第7次総量削減計画（2012年2月策定、目標2014年度）：COD、窒素含有量、りん含有量の発生源別の削減目標を設定 2011年度 COD 65t/日、T-N 62t/日、T-P 3.8t/日 2012年度 COD 62t/日、T-N 59t/日、T-P 3.7t/日 発生負荷量は減少傾向	
	工場等固定発生源対策				
	法・条例による排出基準の遵守指導・規制（新たな知見に基づく項目・規制値の見直しを含む）	☆☆	水質汚濁防止規制指導事業	届出指導・審査、立入検査による改善指導等 サンプル採取・分析の実施	
	事業者による自主的な負荷削減への取組みの促進	☆☆	化学物質対策推進事業	事業者に対する排出削減の適正管理の指導助言 公共用水域への化学物質排出量：0.65千t（2011年度）、0.65千t（12年度）	
	生活排水対策事業				
	下水道の促進	☆☆	流域下水道事業の推進	流域下水道の幹線管渠、ポンプ場、水みらいセンター（下水処理場）の整備を推進 2011年度：今池水みらいC処理施設運転開始 2012年度：北部水みらいC処理施設運転開始 2013年度：狭山水みらいC処理施設運転開始、寝屋川北部流域の増補幹線の単独貯留	
	合併処理浄化槽の整備促進	☆☆	浄化槽整備事業の推進	個人または市町村への補助金の交付（単位：基） 個人設置型：125（2011年度）、95（12年度）、67（13年度） 市町村設置型：16（2011年度）、57（12年度）、120（13年度）	
	農業集落排水施設等の普及の促進	☆☆	農業集落排水施設	4地区（能勢町2地区、岸和田市2地区）で供用（2013年度末）	
			漁業集落排水施設	1地区（岬町）において2009年度から全施設供用	
	（定義なし）	☆☆	生活排水対策の促進	大阪府生活排水対策推進会議の運営 「大阪府生活排水対策推進月間」（2月）を中心にイベントや街頭啓発を実施 啓発実施回数：10回（2012年度）、12回（13年度）	
	下水道の整備促進				
	下水道高度処理の推進	☆☆	流域下水道事業の推進	水みらいセンターにて窒素・リン等を除去する高度な水処理施設を整備	
	合流式下水道の改善	☆☆	流域下水道事業の推進	水みらいセンターとポンプ場にて合流式下水道の改善を実施 2011年度：小阪ポンプ場 2012年度：穂積ポンプ場・深野北ポンプ場 2013年度：中央水みらいC 雨水滞水池・太平ポンプ場雨水貯留施設	

※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗			
評価		評価	理由等
	施策目的の達成状況	BOD 濃度の目標達成は見込める	BOD 濃度の達成率は 71.6%であり、年変動はあるものの概ね改善傾向。今後も目標達成に向け、取組みを推進。
	事業・工程の進捗状況	計画どおり進捗	
計画見直し又は改善事項		見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等
	目標	無	
	施策の方向・主な施策	無	
	工程表	無	
	その他の改善事項	無	
関係課室	環境管理室、健康医療部環境衛生課、都市整備部		

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	点検評価の手続きについては、概ね妥当である。	評価については、概ね妥当である。	見直し・改善の方針については、概ね妥当である。

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	II-4(2) 健康で安心して暮らせる社会の構築（良好な水環境を確保するために）	施策No.	22	施策名	大阪湾の環境改善
-----	--	-------	----	-----	----------

目的、内容	海への関心と浜辺の親水性の向上に努める（自由に海とふれあえる場の整備や直立護岸の緩傾斜化を検討、アマモ場等の保護再生） 多様な水生生物が育つ魅力ある大阪湾を実現する（水生生物の生育・生息にとって望ましい水質の調査研究の実施、環境改善） 2020年目標：多様な生物が棲む、豊かな大阪湾にする。 ・底層DO（溶存酸素量）5mg/L以上（湾奥部は3mg/L以上）を達成する。 ・藻場を造成する。（藻場面積400haを目指す）					
副次的効果、外部効果等	漁業生産の増大を通じて、産業振興、地域の活性化に資する。					
関係法令、行政計画等	水質汚濁防止法、府生活環境の保全等に関する条例：工場、事業場排水の規制 瀬戸内海環境保全特別措置法 瀬戸内海の環境の保全に関する大阪府計画					
国等の政策、社会情勢等	・現在、国会で瀬戸内海環境保全特別措置法の改正について審議中。また、国は瀬戸内海環境基本計画の変更について検討中。 ・現在、中央環境審議会水環境部会専門委員会で、底層DO等の環境基準設定について検討中。					
施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）		
	環境目的の事業費	51,146	45,873	12,989		
	本施策が主たる目的であるもの	347,921	99,625	222,715		
	本施策が従たる目的であるもの	0	0	0		
取組指標及び実績 （施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績			
	① COD、T-N、T-Pの発生負荷量	大阪府環境白書掲載データ	2010年度 COD 67t/日、T-N 63t/日、T-P 4.1t/日 2011年度 COD 65t/日、T-N 62t/日、T-P 3.8t/日 2012年度 COD 62t/日、T-N 59t/日、T-P 3.7t/日			
	② 底層DO（溶存酸素量）5mg/L以上（湾奥部は3mg/L以上）を達成	同上	2011年度 達成3地点/12地点、各地点最小値の平均値：湾奥部1.2mg/L、その他3.4mg/L 2012年度 達成3地点/12地点、各地点最小値の平均値：湾奥部0.9mg/L、その他3.7mg/L 2013年度 達成3地点/12地点、各地点最小値の平均値：湾奥部2.3mg/L、その他3.9mg/L			
	③ 藻場面積	同上	2011年度 360ha、2012年度 362ha、2013年度 365ha			
工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況		
	総量削減計画/総量規制（第7次計画に基づく総量削減）	☆☆	総量削減計画の策定及び進行管理	第7次総量削減計画の基準年度（2009年度）に比べ、発生負荷量は減少 COD 2009年度 65t/日→2012年度 62t/日 T-N 2009年度 61t/日→2012年度 59t/日 T-P 2009年度 4.0t/日→2012年度 3.7t/日		
	藻場、干潟の再生					
	藻場・干潟の造成による環境改善	☆☆	港湾建設事業（環境） 沿岸漁場整備開発事業	緑地整備、生息環境形成や水質浄化を図るための人工干潟を整備 魚介類の産卵場、稚仔魚の育成場である増殖場を造成（2011年0.6ha、2012年0.6ha、2013年3.0ha）		
	活動を通じて府民の親水性向上を促進	☆☆	魚庭（なにわ）の海づくり大会 大阪湾環境保全協議会の活動	イベントを通じて、美しく豊かな大阪湾を府民の手で取り戻す活動への取組みを呼びかけを行った。（来場者数は2011年10,000人、2012年3,000人、2013年雨天中止） 府民と連携した環境保全活動の実施 イベント等における大阪湾の環境を学ぶ機会の提供		
	砂浜の再生（マールビーチ沖等での覆砂）	☆☆	藻場造成（2011年度）	覆砂・アマモ移植を行い、藻場を造成。2012年度からはNPO法人環境教育振興技術会に無償委託を行いモニタリング、アマモの播種、アオサの除去などのソフト面での取組みを行っている。（2013年、アマモの種まきを地元小学生30名が実施）		
	底質の改善（海底耕耘の実施等）	☆☆	海底耕耘事業	春・秋の年2回、海底を攪拌して底質を改善（府内24漁協） 約300ha/年		
	窪地対策（窪地埋め戻しのモニタリング、埋め戻しの順次実施）	☆☆		堺市・岸和田市・貝塚市沖で計282万m <sup>3</sup> 埋戻しを実施（2013年度末、残量約1,647万m <sup>3</sup> ）		
	※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗/☆☆計画どおり/☆計画以下の進捗/△計画とは異なる事業内容で進捗					
	評価	施策目的の達成状況	評価	理由等		
事業・工程の進捗状況		計画どおり進捗				
底層DOの達成率		現状の底層DOの達成率は25%である	底層DOについて、湾奥部はH23：1.2mg/L→H25：2.3mg/L、その他はH23：3.4mg/L→H25：3.9mg/Lと改善傾向にあり、今後も目標達成に向け取組を推進。藻場面積については増殖場の造成などにより少しずつ増加している。			
計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等				
	目標	無				
	施策の方向・主な施策	無				
	工程表	無				
	その他の改善事項	無				
関係課室	環境管理室、水産課、都市整備部					

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	点検評価の手続きについては、概ね妥当である。	評価については、概ね妥当である。ただし、以下の点についてはさらなる検討が必要。 ・COD、T-N、T-Pに関するデータの有意差についての詳細な検討	見直し・改善の方針については、概ね妥当である。

2014年（平成26年度）複数年サイクル点検評価レポート【施策評価】

分野名	Ⅱ-4(2) 健康で安心して暮らせる社会の構築（良好な水環境を確保するために）	施策No.	23	施策名	水循環の保全・再生
-----	---	-------	----	-----	-----------

目的、内容	流域一体となった水循環の保全・再生 ・森林や農地・ため池等の保全による流域の雨水浸透、貯留などの水源かん養機能の保全・回復・増進 ・節水や雨水利用の促進、地下水・下水処理水の活用等
-------	--

副次的効果、外部効果等	
-------------	--

関係法令、行政計画等	水循環基本法（2014年7月施行）
------------	-------------------

国等の政策、社会情勢等	
-------------	--

施策実施に要したコスト（職員人件費を除く）	事業のコスト（千円）	2011年度（決算額）	2012年度（決算額）	2013年度（決算見込額）
	環境目的の本施策が主たる目的であるもの	333,572	276,884	0
	事業費の本施策が従たる目的であるもの	26,999,608	28,410,742	30,806,433
	環境以外の目的を含む事業費	0	0	410,198

取組指標及び実績（施策効果の定量評価）	名称	把握方法	実績
①	（該当なし）		

工程表の進捗状況	工程名	進捗状況*	主な事業の名称	事業の実施状況
	森林整備			
	保安林の指定拡大	☆☆	保安林の指定	2010～13年度に764ha追加指定。
	保水機能の高い森林の育成	☆	森林造成事業、森林整備加速化・林業再生事業等による間伐の推進	間伐実施面積 2010-12年度：2,758ha 2013年度：700ha
	農空間の保全・活用（農地、ため池・農業用水路等の保全と活用の推進）	☆☆	農業用水路改修事業、オアシス整備事業、農空間保全地域制度推進事業	オアシス構想整備地区 計36地区（2013年度末） 遊休農地解消面積 171.8ha（2011～13年度）
	下水処理水の有効利用（下水処理水の河川浄化用水、修景用水、散水への有効利用）	☆☆	下水高度処理水供給「Q水くん」 緑地、水路の流水への利用	原田、中央、高槻、渚、川俣、なわて、今池、大井、狭山、北部、中部、南部の各水みらいセンターにて無償で散水用途のための高度処理水を供給 新豊島川親水水路（豊中市）、ガランド水路（摂津市）、島地区（茨木市）、都市計画道路京阪南2号線他（枚方市）、鴻池井路・長瀬川・中環の森（東大阪市）、竜華地区、楠根川（八尾市）、平野川（大阪市）、原田水みらいセンターを含む10処理場での修景
	雨水利用			
	モデル地域での官民連携による雨水利用	☆☆	「守口さかさかさ」の取組み	地域、企業と連携して雨水を緑化、防災、打ち水に利用できる貯留施設を整備（2012年度）
	官民連携モデルを他地域に展開	☆☆	雨水利用の手法・事例の情報提供	ホームページ「おおさかレインボウぷろじェくと！」にて雨水利用事例紹介、雨水環境学習・啓発ツール、雨水利用診断ソフトの提供
	地下水利用			
	都市部での保水能力の向上	☆☆	「みどりの風促進区域」都市緑化の推進、校庭の芝生化、建築物緑化促進制度	促進区域における植樹 計9,600本（2011～13年度） 校庭の芝生化 計182校、約20.4ha（～2012年度） 条例に基づく建築時緑化 累計約200ha（～2013年度）
	地下水の利用（適切な地下水位を維持）	☆☆	地盤沈下規制指導事業	府域15箇所の観測所における地下水位及び地盤沈下の常時監視（地盤沈下の未然防止のために実施） 工業用水法等に基づく地下水の採取規制の実施 大阪府生活環境保全等に関する条例に基づく地下水の年間採取量報告徴収の実施

※進捗状況：☆☆☆計画以上の進捗／☆☆計画どおり／☆計画以下の進捗／△計画とは異なる事業内容で進捗

評価	評価	理由等
施策目的の達成状況	—	（数値指標が無いため評価できない。）
事業・工程の進捗状況	一部は計画以下の進捗	保水機能の高い森林の育成（間伐）は進捗していない。

計画見直し又は改善事項	見直し・改善点の有無	見直し・改善点の内容等
目標	有	2014年度に施行された水循環基本法に基づく施策体系などの情報をもとに見直しを検討
施策の方向・主な施策	有	
工程表	有	
その他の改善事項	無	

関係課室	環境農林水産総務課、みどり都市環境室、環境管理室、農政室、都市整備部、
------	-------------------------------------

環境総合計画部会委員による点検（所見）	点検評価手法の適正さについて	評価結果について	計画の見直し又は改善方針について
	判断のためのデータが不足	判断のためのデータが不足	判断のためのデータが不足